

# しゃくなげ



DENSOKU  
No. 498号

発行日 2021年10月15日  
発行 株式会社でんそく



## 安全について

常務取締役 津田 正

労働災害は、長期的には減少傾向となっているが、現在でも年間55万人が被災しており、1200人を超える尊い命が失われています。本年度の全国労働衛生週間の、安全衛生スローガン『「予定外」思った時に手を止めて安全対策再確認』にこれは、でんそく安全憲章5ヶ条の4番目の「予定と違う状況には、まず止まり相談します」の文言に通じると感じました。

8/31 労災が発生しました。お客様に多大なご迷惑をお掛けしました。ケーブル調査時にラック上段までの高さ3.65mの所に脚立を梯子使用していたところ上部が外れハンゴとともに床面に前のめりに倒れ墜落負傷する労災事故が起きました。主な要因は、梯子の支持者がいなかった事、建て掛け角度が60度だった事、梯子兼用脚の滑り止めの片面が床面接触していなかった事があげられます。労災を起した事で、今まで以上に安全に対する思いを強く心に持ち、二度と同じ災害を繰り返さない。相手を思う「ご安全に！」を今一度原点として行動しましょう。

働く現場では、危険と隣り合わせですが、現場の経験不足から起こる事故、慣れから起こる事故等々、「単に形だけの安全確認をしていないか」「危険が日常に埋もれてしまっていないか」新たな視点で仕事を見つめ直すことが求められています。今まで以上に、安全衛生対策について、自主的に職場の潜在的な危険性や有害性を見つけ出し、事前の的確な対策を

## 感謝状受賞

10月11日、北陸電力送配電株式会社 富山支社 高岡電力部長 石田 浩之様より、工事部の堀井 祐太郎さんが感謝状をいただきました。これは、自身が培った技術力を活かし、耐久性にすぐれたLANケーブル布設方法への改善提案によりコストダウン、省力化に大きく寄与されたことによるものです。

おめでとうございます！



講ずることが不可欠であります。技術の進展等により、多種多様な機械設備や化学物質等が生産現場で用いられるようになり、その危険性や有害性が多様化してきました。これを除去、低減するためのリスクアセスメント手法を用いて「事故災害を絶対起こさない、起こさせない」を心に日々安全作業に努めていきたいと思います。

労働災害における経験則の一つ「ハインリッヒの法則」では、一つの重大事故の背後には29の軽微な事故があり、その背景には300の異常(ヒヤリハット)が存在すると言われています。各職場への安全パトロールが実施されますが、少なからず幾つかの指摘があると思います。改善対策を実施し、同じ指摘事項を繰り返さぬように徹底していきましょう。

## 点検による故障、災害等の未然防止

工事部 石丸 吉伸

8月23日から8月27日にかけて、庄川沿岸用水土地改良区連合様の水力発電設備である庄川合口発電所の点検業務を実施しました。当該発電所は庄川合口ダムの河川放流維持流量を利用して発電を行う小水力発電設備です。運用開始当初より毎年弊社にて点検業務を実施しており、本年度は水中タービン発電機の分解点検を行いました。

当機器は発電機及び水車が一体になったパッケージ型の水車発電機で総重量が約8000kgになります。分解点検時は水車と発電機を分割して当工場に持ち帰り、工場内にてさらに一点一点部品を分解し点検を行います。部品は重量物や繊細な物等、様々な部品が含まれており慎重に作業を進める必要がありました。

本点検を実施して故障、災害等の未然防止を図ると共にお客様に安心して設備を運用して頂ける様なればと思います。

今後も再生可能エネルギー活用への取組みに助力していきたいと思っております。



(水車発電機据付作業)



(発電機分解点検作業)

## 入社して半年経って考える事

工事部 T.I

でんそくに入社して早くも半年が経過しました。この半年間は少しでも早く仕事を覚えて、現場で通用していけるようになるということを意識して仕事に取り組んできました。

まず最初に現場に出た際に、自分は電気分野についてほとんどのことをまだまだ理解できていないということを実感しました。自分は高校では電気科に所属していたということもあり、電気についてのことはある程度は理解しているつもりでしたが、実際に現場で行われている作業では高校の授業などで学んだ知識はあくまでも基礎として、それを応用した技術やまだ学んだこともない技術が扱われており、自分は作業についていくことに精一杯で今行っている作業は何をどうしているのかということをやや曖昧にしか把握することができませんでした。そのあとの現場でも、ただ指示された通りに作業を行うだけで、自分達が今設置している設備はこれからどのように使用されていくのか、設置したことで何が改善される

のかということを詳しく理解することが出来ないまま作業が終了してしまうこともありました。そして、このまま訳も分からずただ作業をしているだけでは成長していくことは難しいと思うようになりました。そこから、成長していくためには、自分はなぜ作業を行っているのかを知ることが必要だと感じ、できるだけ早く、より多くの知識を身につけることを目標にしていこうとしました。

私は現在、設備更新工事の施工計画から携わらせてもらっており、施工計画を立てるためには作業の根本的な理屈から理解していくことが必要となり、多くの知識を身につけていくことができ、成長していく大きなきっかけになると思います。早く現場で通用していけるように頑張っていきたいです。

## 読書の秋

10月27日～11月9日は2021年の読書週間です！ちょっとした空き時間に読んでみるのはいかがでしょうか？

作者：内村 鑑三 『後世への最大遺物』

内村 鑑三さんの書物の内でも一番広く読まれている本書は日本のキリスト教思想家である内村鑑三の講演録。後世に残す価値があるものについてお話しされています。こちらは著作権が切れており、インターネットの図書館、青空文庫さん(<http://www.aozora.gr.jp>)でも読むことができます。

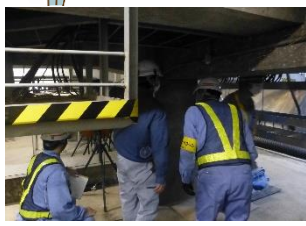
作者：松浦 弥太郎 『あなたにありがとう。』

『暮らしのなかの工夫と発見ノート』

まずはいいところを見つける練習！「愛情を伝える」「待たせない」「断られ上手になる」「いない人の話をしない」など、人とかかわりあいながら心地よく暮らすためにできることを紹介しています。「ありがとう」の言葉が、心にあふれてくる一冊です。

## 黒二安パト！！

総務部 R.I



9月22日に関西電力株式会社様、黒部二発電所の社内安全パトロールに同行させていただきました。

詰所では安全憲章や転落・転倒防止等の掲示物も確認しやすいうように掲示されており、現場でも工具や材料の整理整頓をしながら作業されていました。

発電所内を見渡すと危険や注意を促す掲示物が至る所に貼られており、入口の低い場所や急な階段等、パトロールの最中気を使う事が多々ありました。

今回初めて黒部の山奥の現場へ行くことになりましたが、お話を聞くのと実際に見るのでは全く違うなと感じました。危険の多い現場でお仕事をされている皆様のお力になれるよう、できる限りのお手伝いをしたいと思います。

少しずつ寒さが出てきていますので、健康にも気を付けて安全第一で作業頑張ってください。



## ～編集後記～

10月に入りまして朝晩は冷え込んでいますね。皆さん環境の変化に体はついてきていますでしょうか？少しずつ気温も下がって運動や読書に集中できるようになる季節ですが、今年は寒暖差が特に激しい気がします。体調には十分気を付けてお過ごしください！ (Y.M)